



小鳥遊さんが
降魔士…？

と言われ
ましても
なにが
なにやら



陰陽師とも
呼ばれるが
中でも武闘派な
連中が降魔士だ

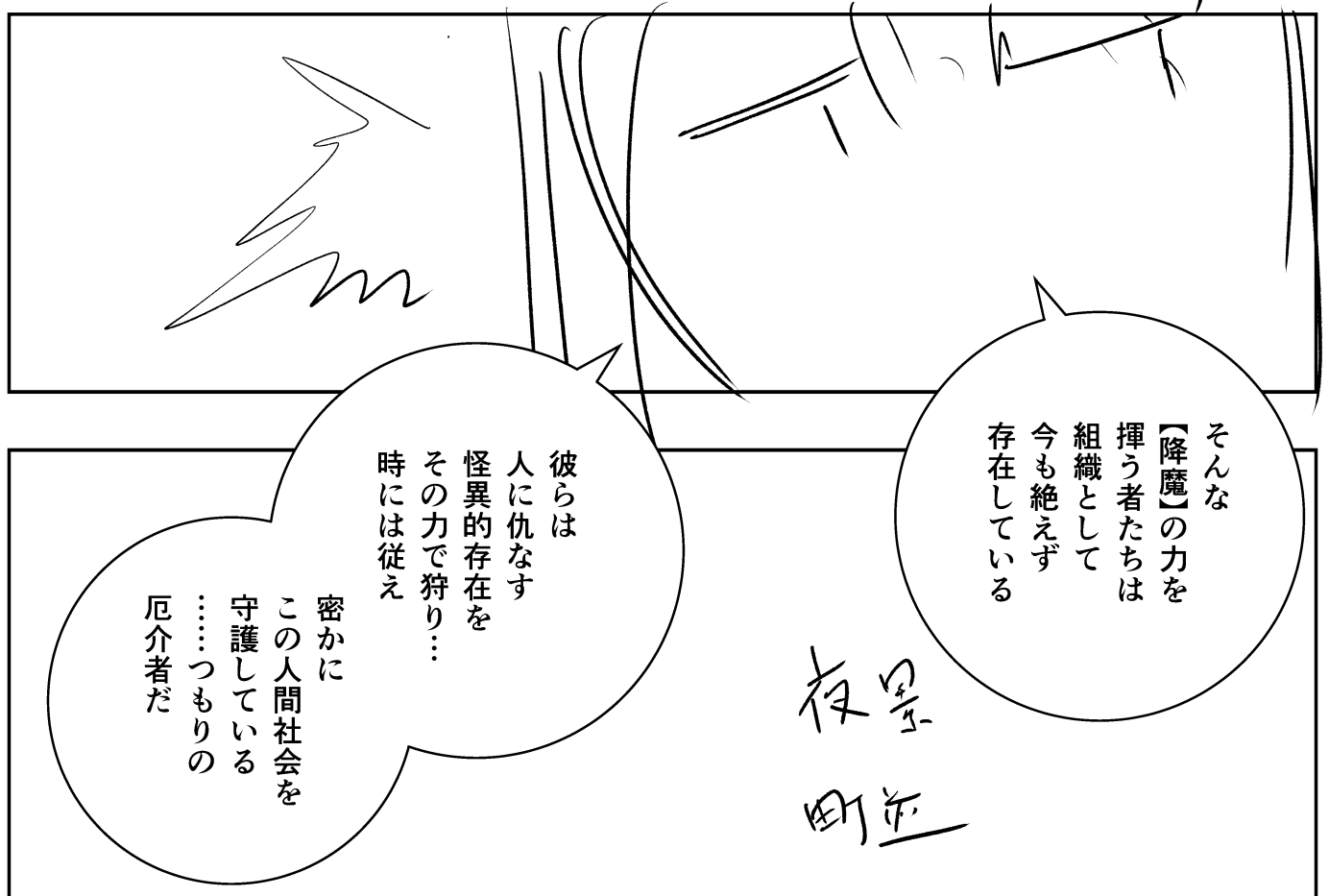
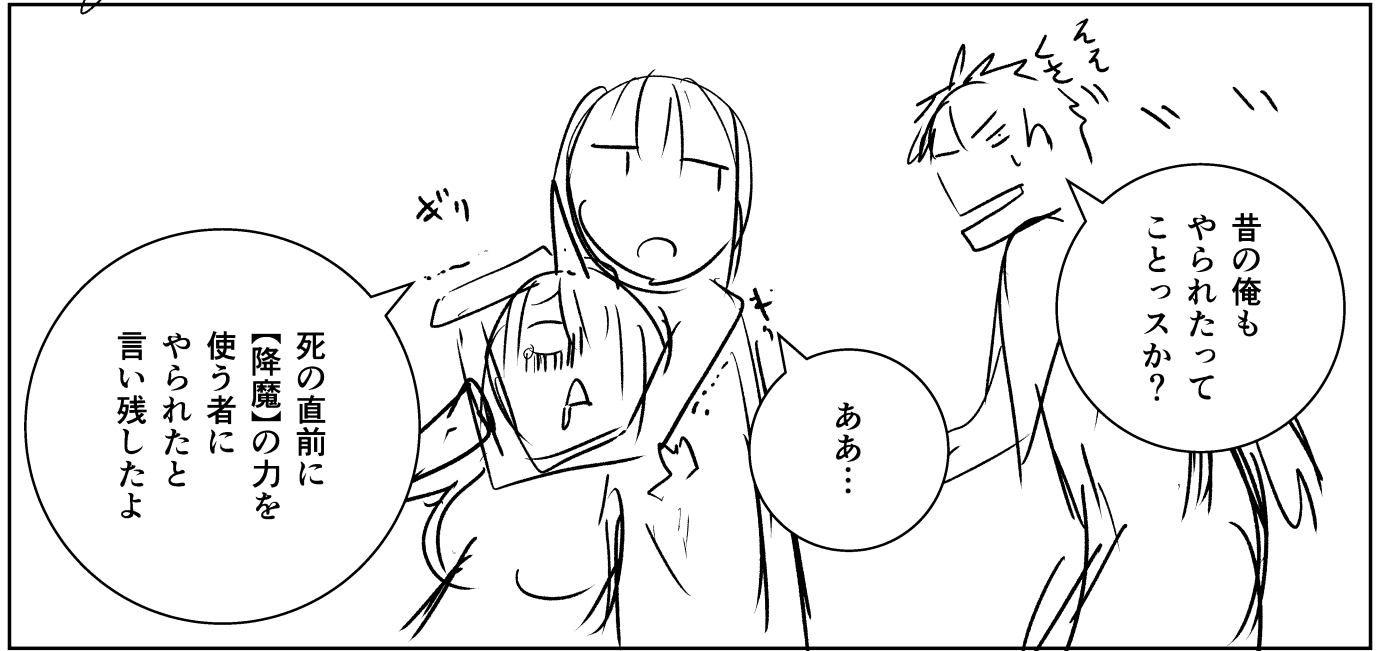
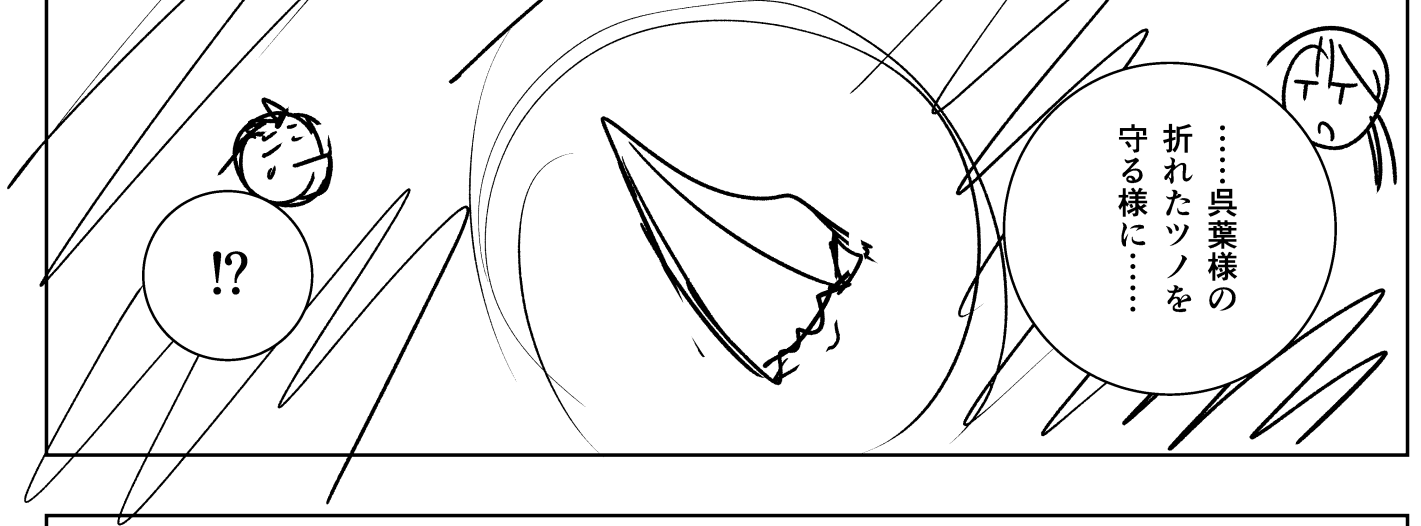
奴らはお嬢様と
かつての
キミにとって
無関係ではない

え？
そうなの？
覚えてない！

あのお…
俺もその辺
覚えていないの
ですが

そうか…
二人とも
そこは記憶に
無いか

足神との股



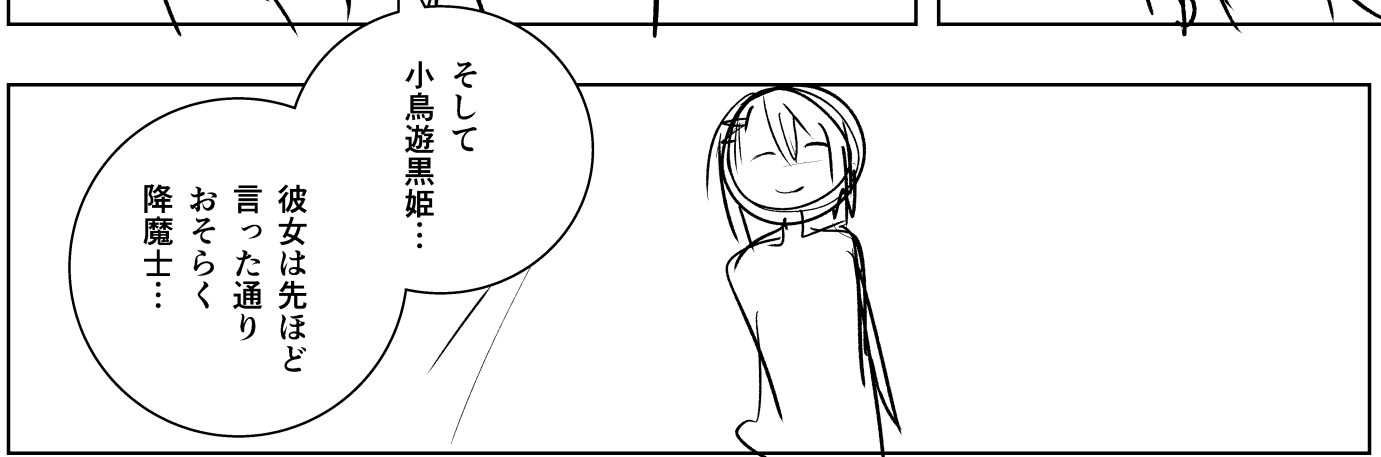


あ…案外
冷静だな…

そこは
今更な感じ
かなと



ふむ…
まあ鬼も
存在する
くらいですし



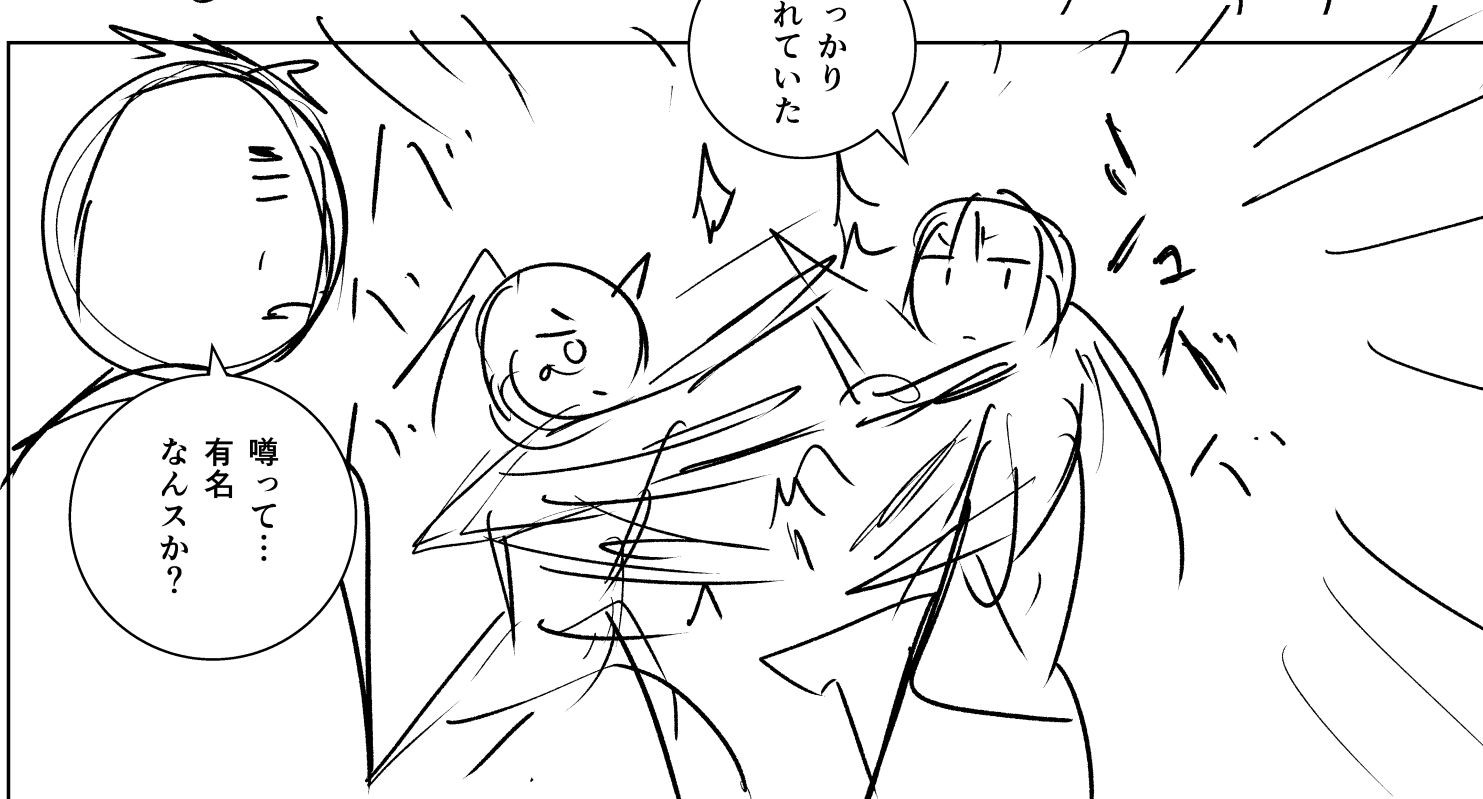
そして
小鳥遊黒姫…

彼女は先ほど
言った通り
おそらく
降魔士…

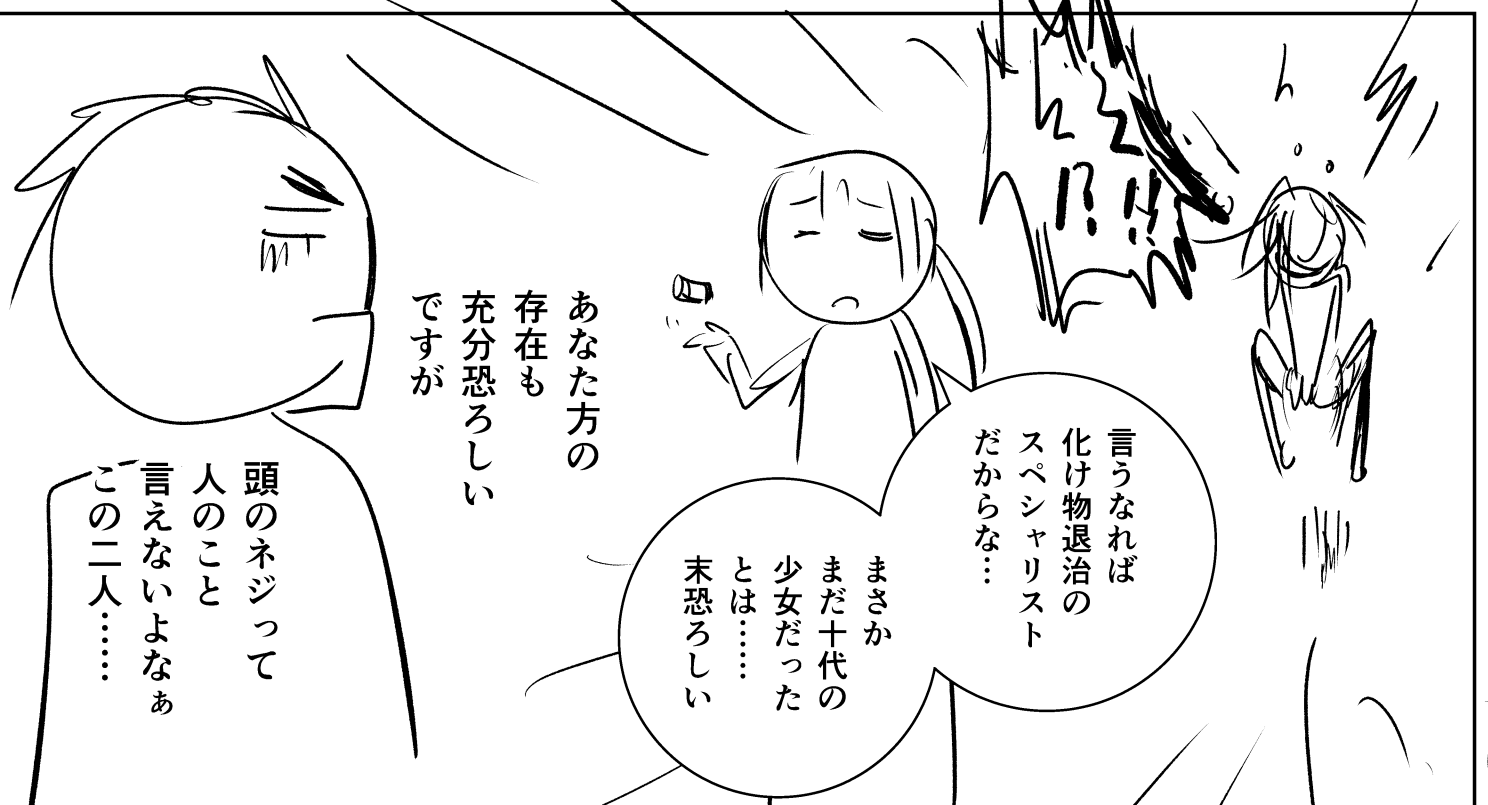
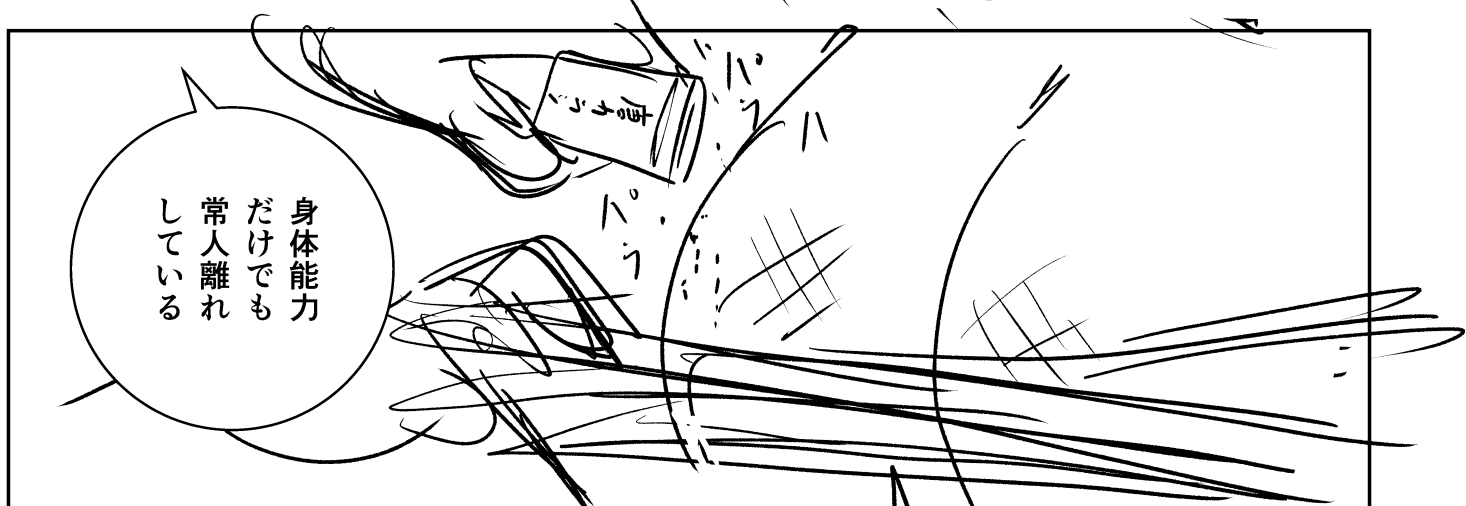


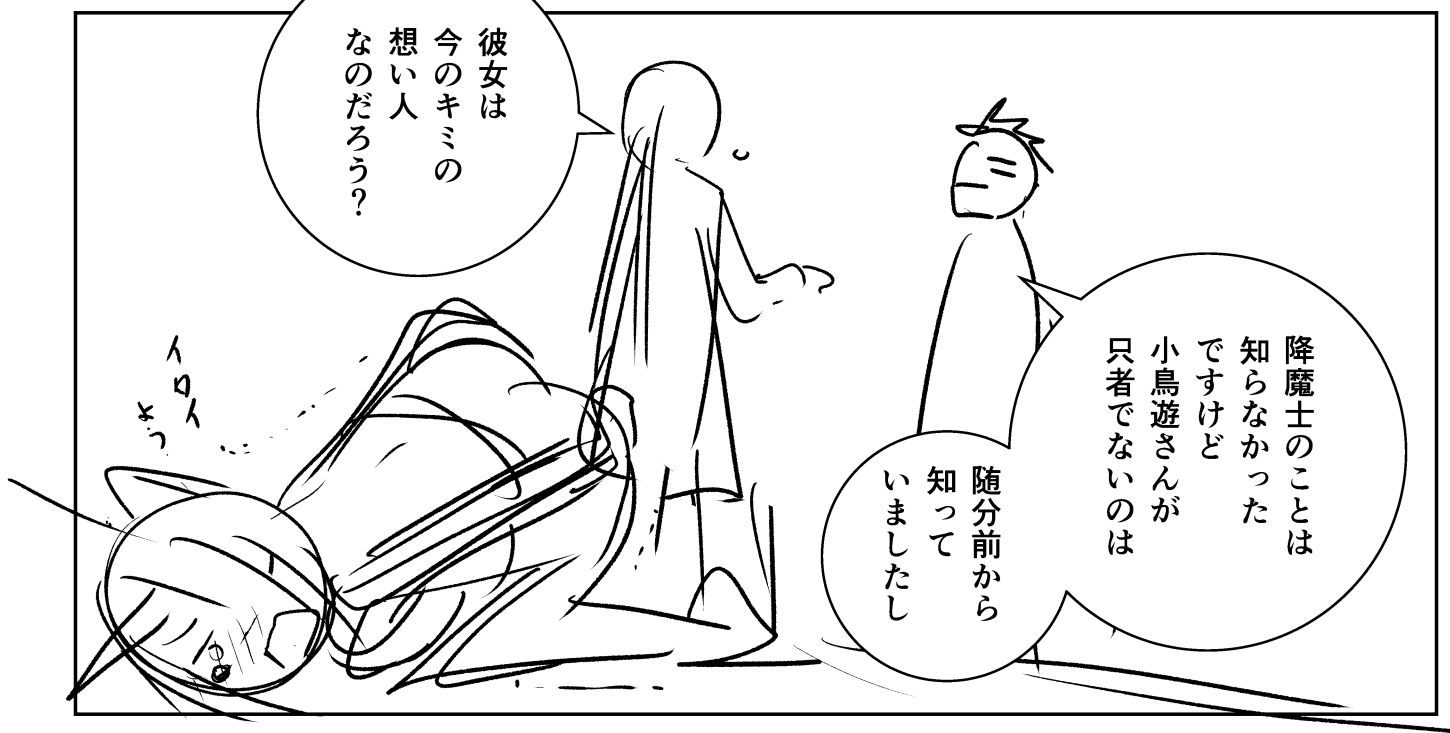
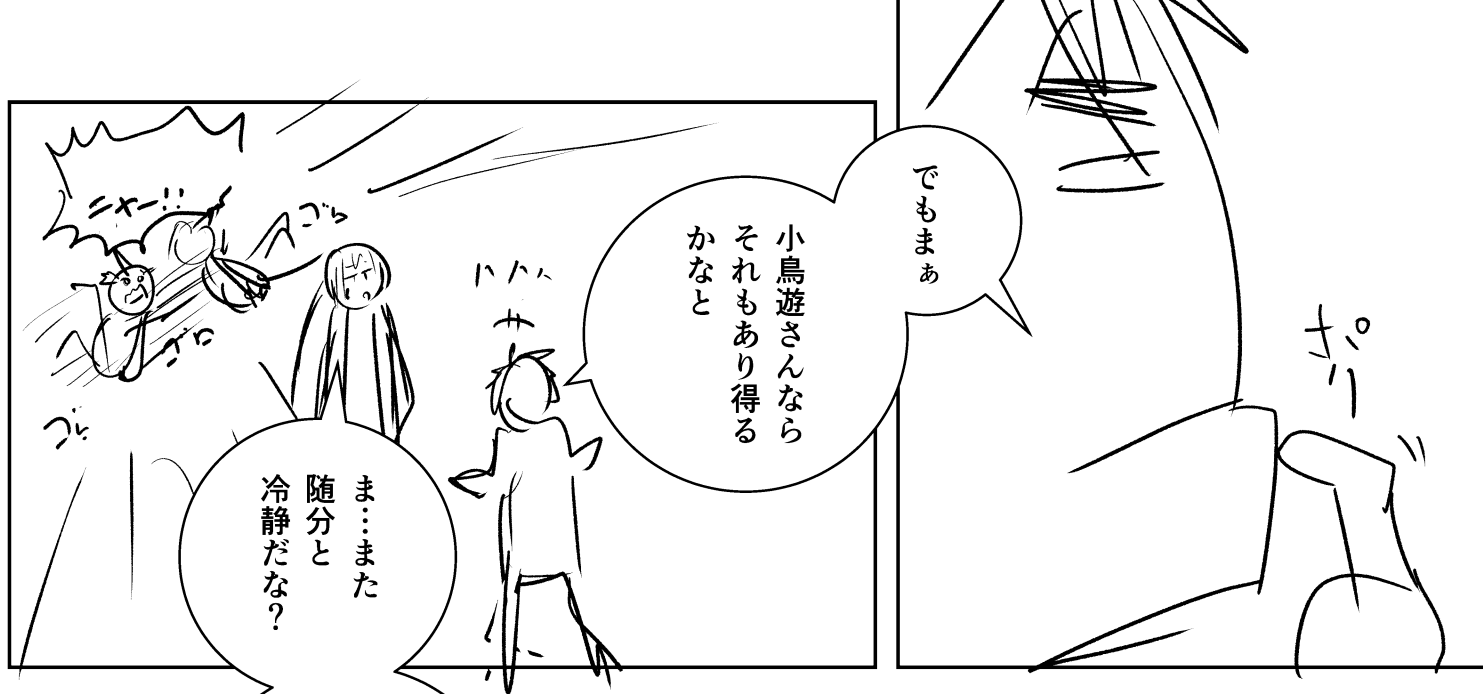
私も噂で
名前を聞いた
程度だから

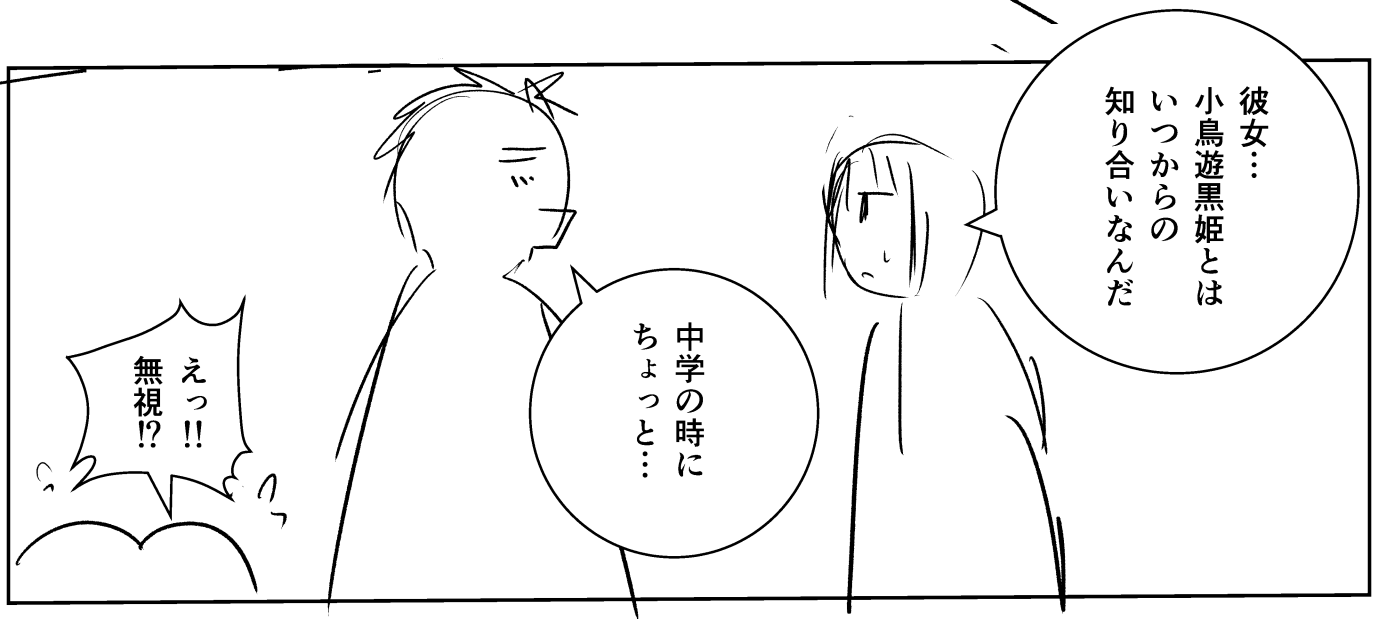
すっかり
忘れていた



噂って…
有名
なんスか？

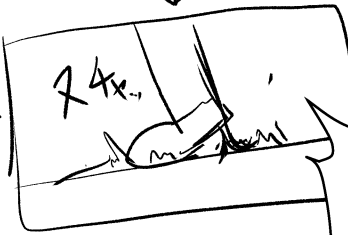








中坊イボイ
の図



誰がドチビ
じゃああ！
ポケエエ！！

アホな罫に
嵌った
お前らに
言われたく
ないわ！

ドは
言っていないし
アホな罫って
自覚あるんだ
えーと…

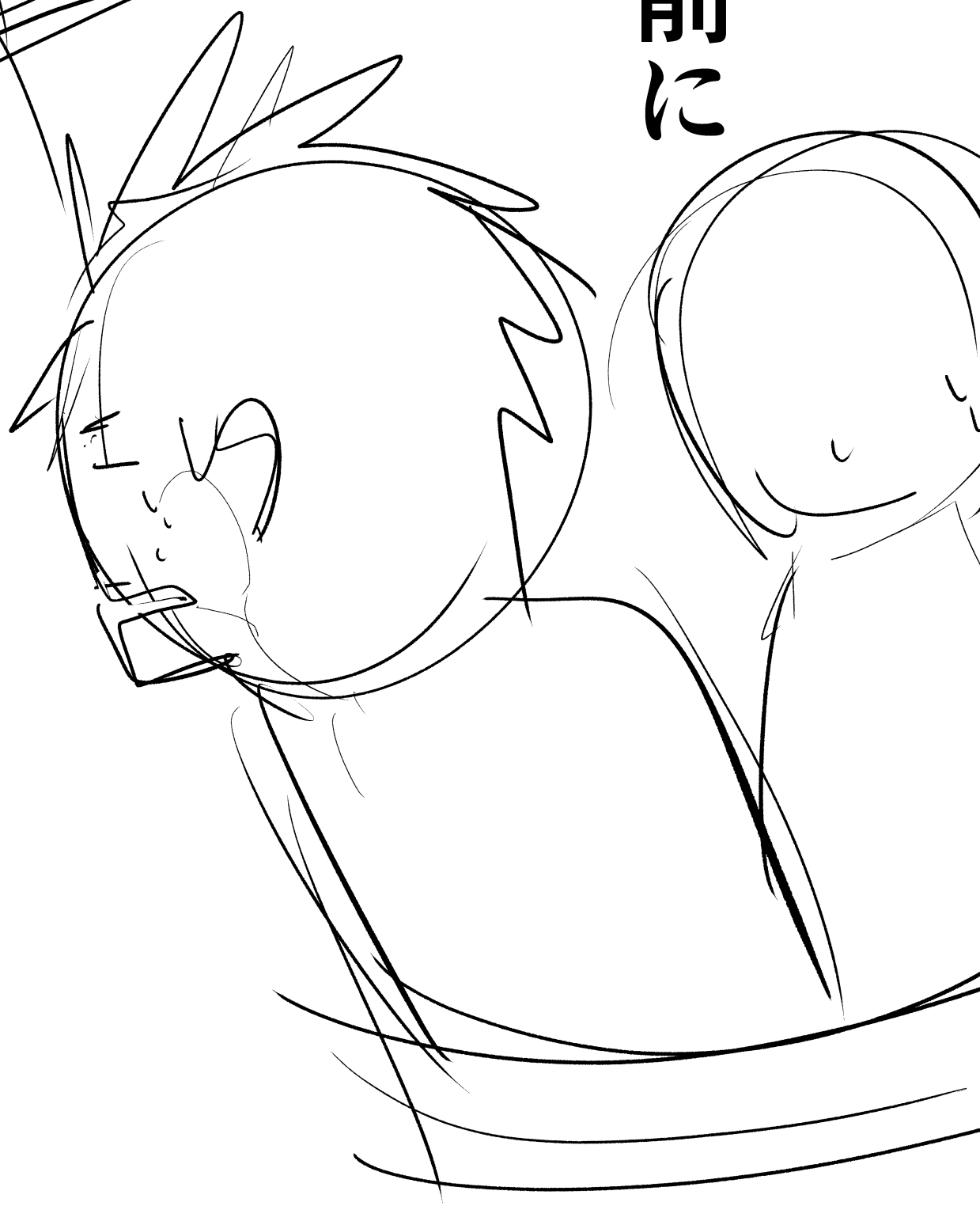
豆助くん
だっけ？

んがああ！
名前で
呼ぶんじゃ
ねええ！！

こうなったら
もう容赦しねえ！
ぶっ潰して—

ぶみゅう！？

その時…
俺の目の前に



天使が舞い降りた



は...?
えええ!!
どこから
降ってきた?

まさか
あの上から...?
んな馬鹿なッ!!

さて
ここなら
遠慮なく
焼き芋を
頬張れるぞ

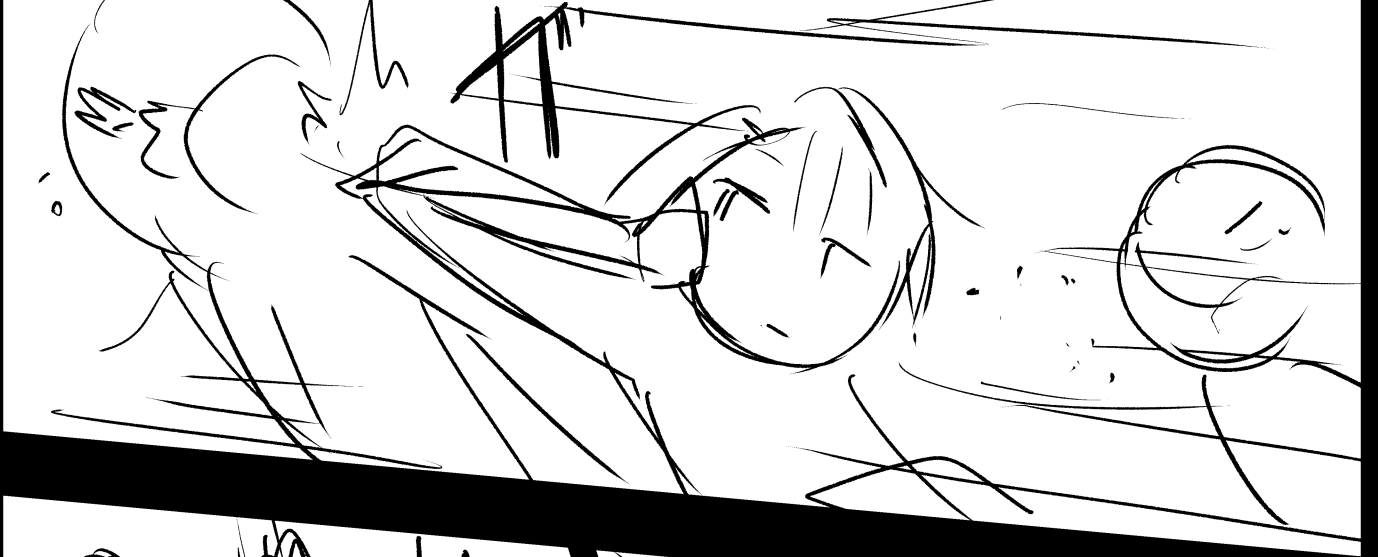
流石に人前で
ガツガツ
食り食えるほど
乙女を捨てちゃ
いな……

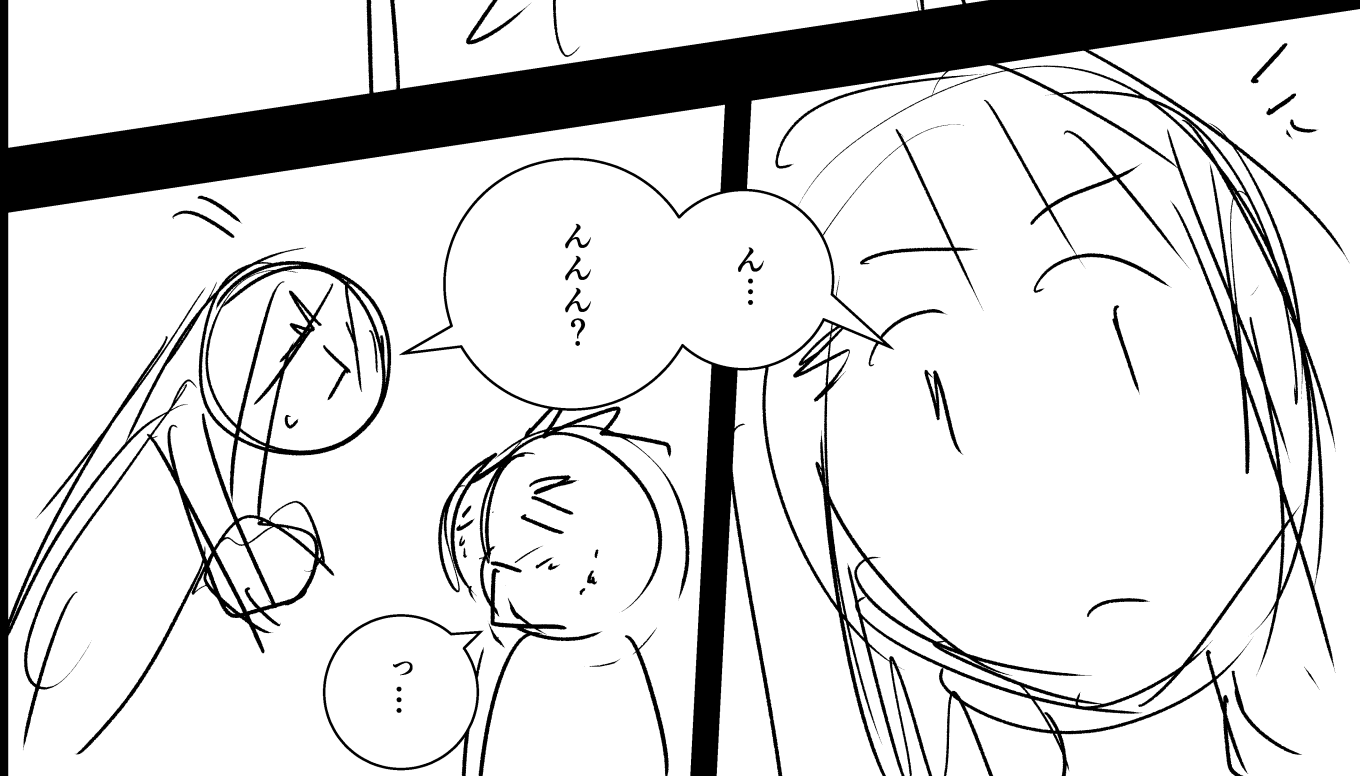
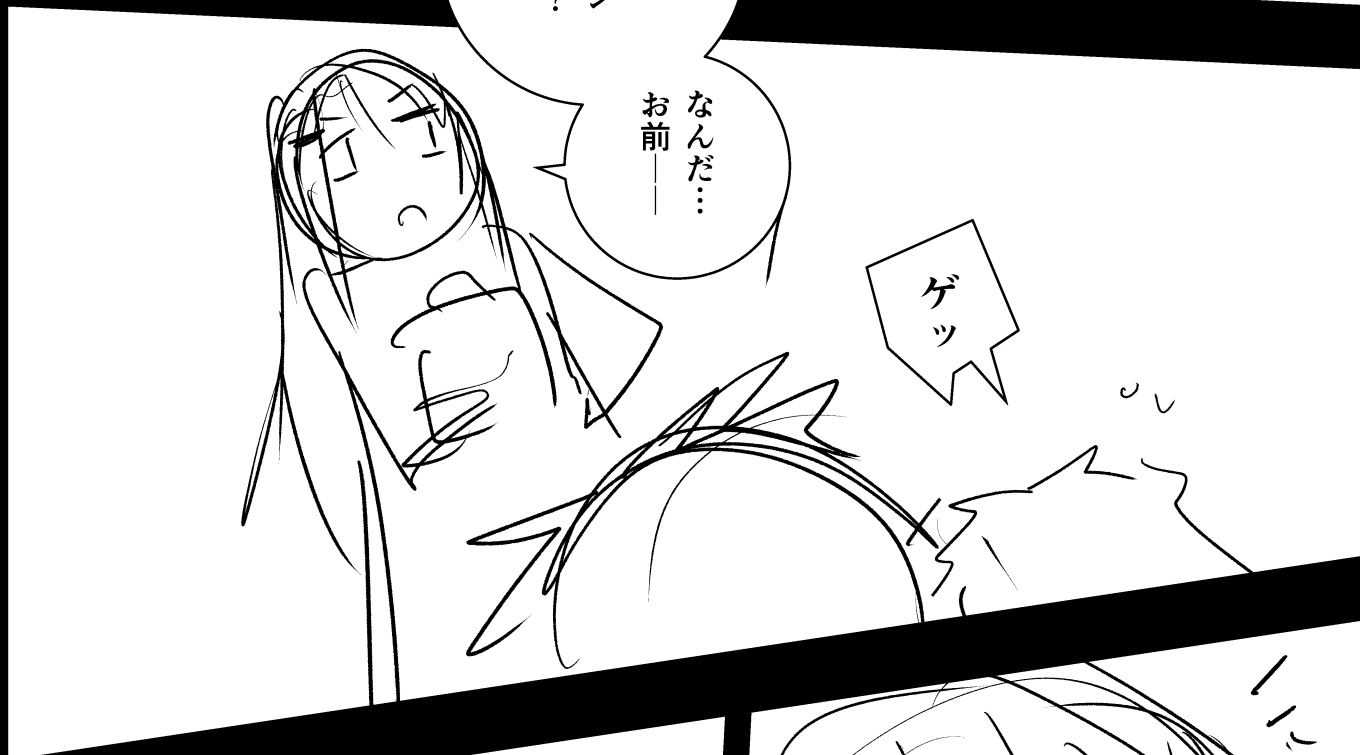
しーん……

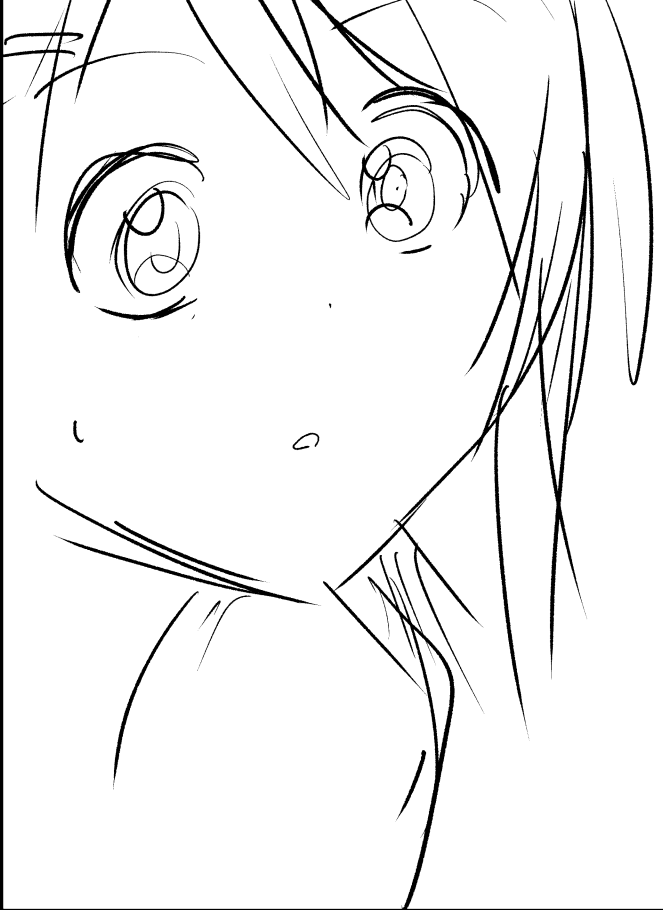
おは
おは

おは

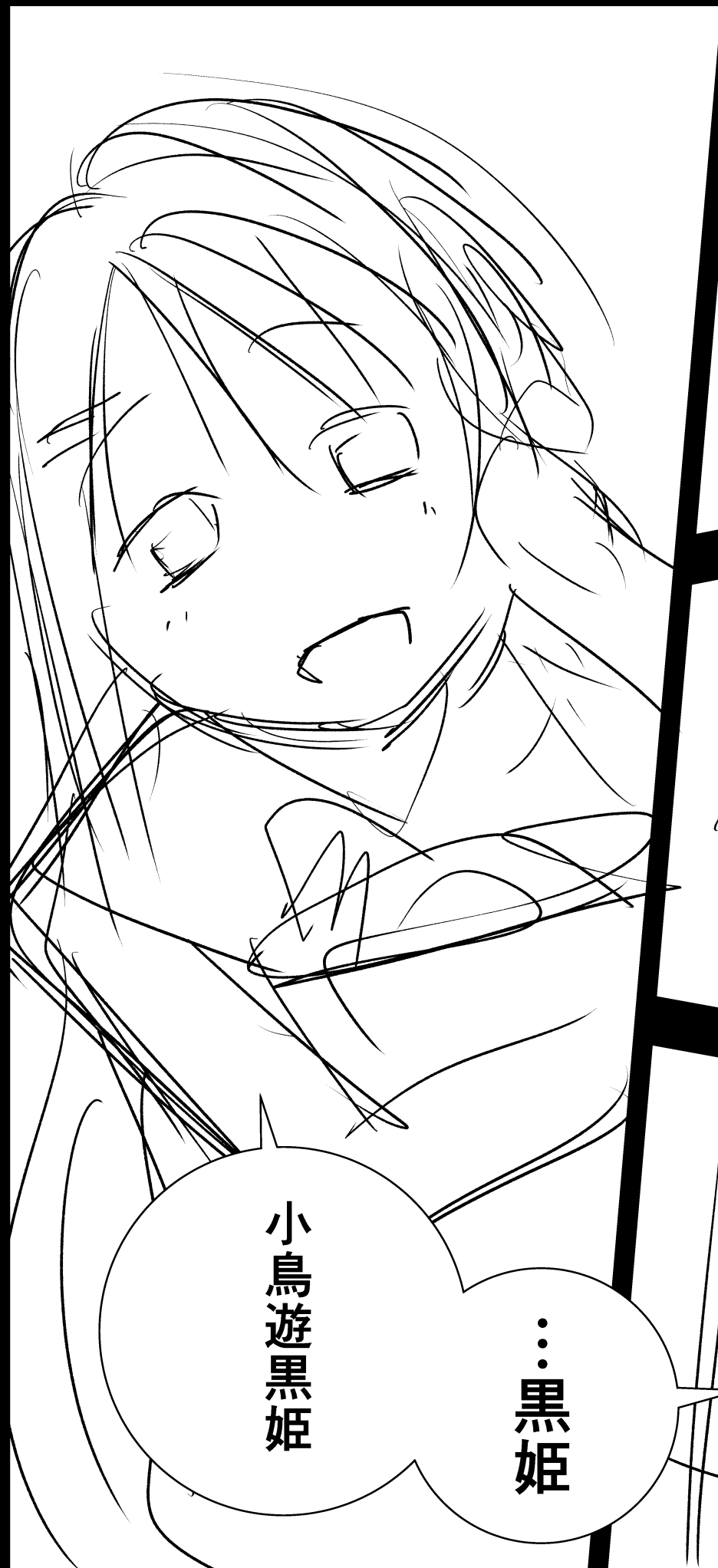








不良倒れてる
←



小鳥遊黒姫

…黒姫

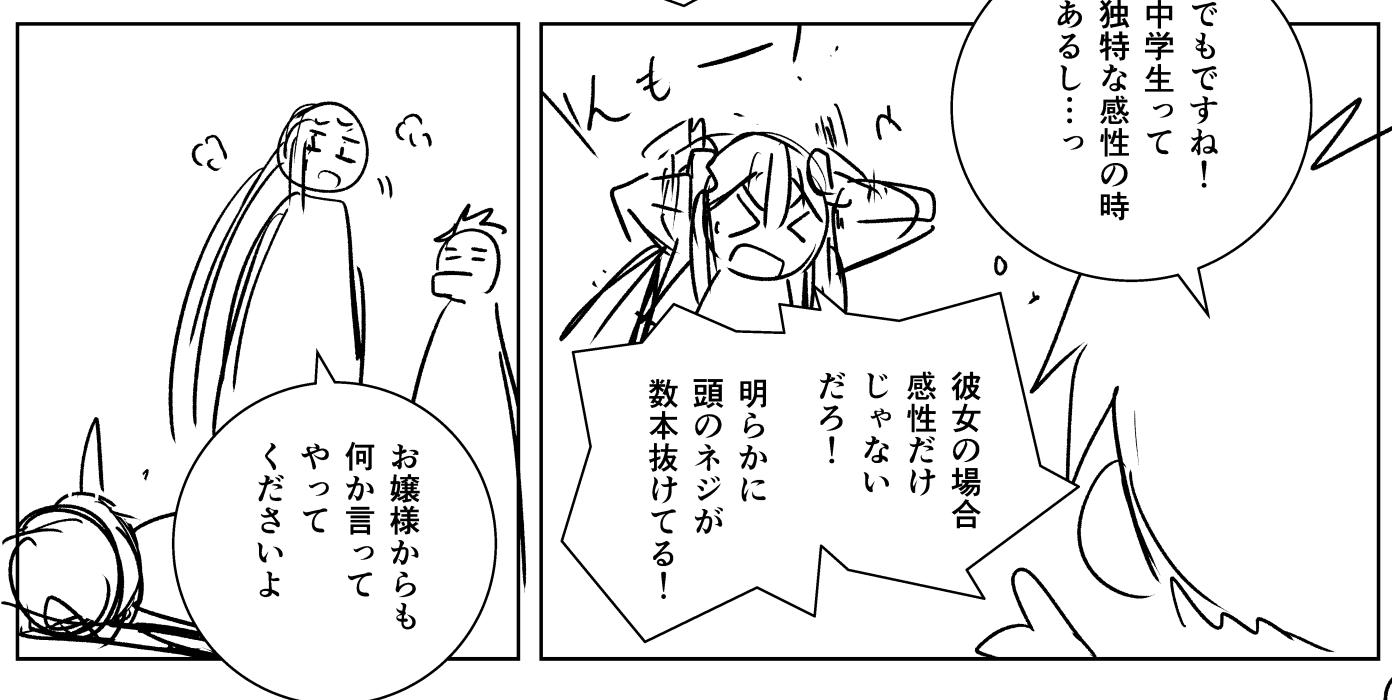
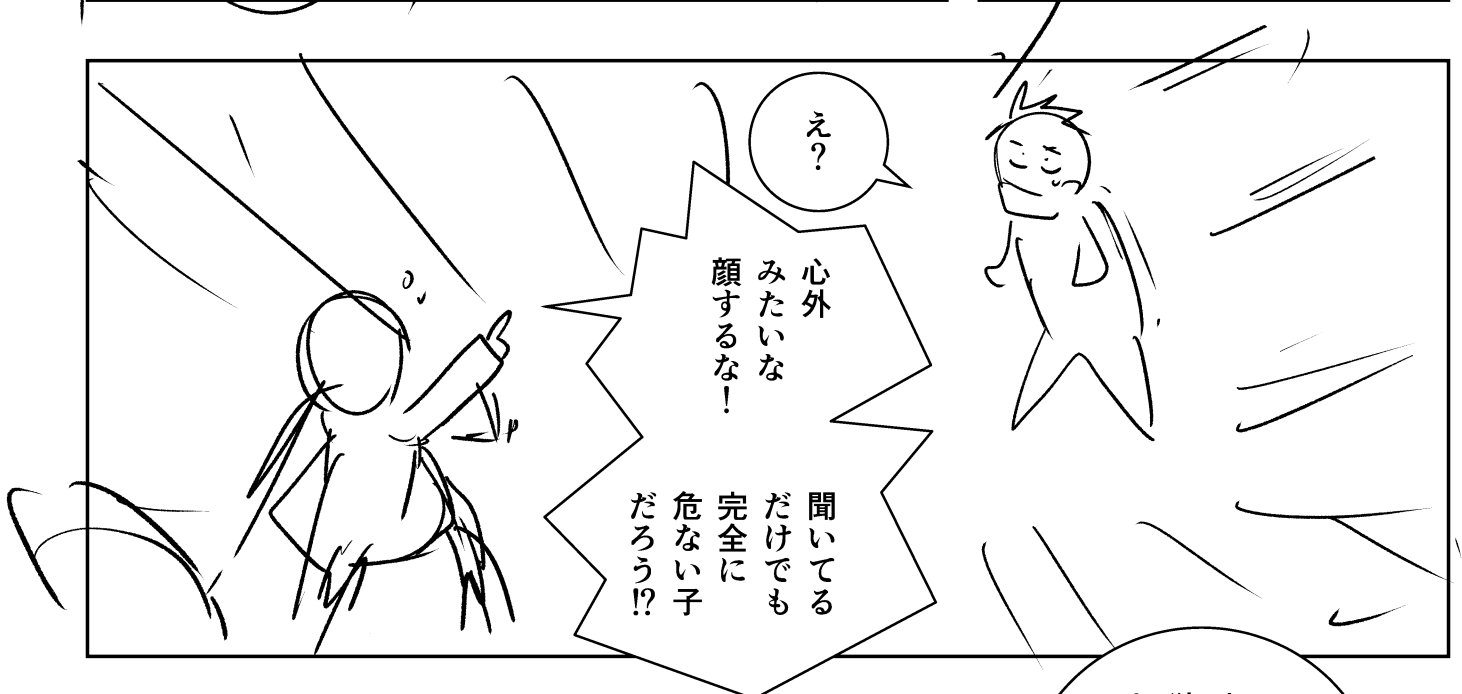


最初の
一文字は
……く！



く？

…





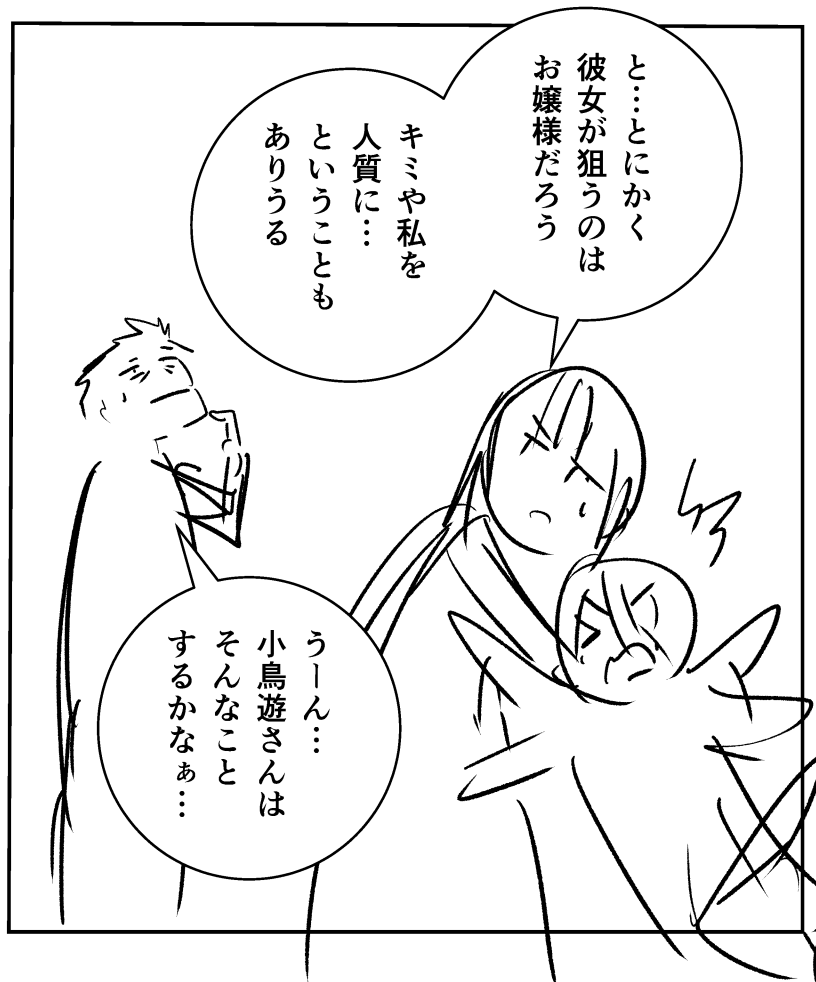
露骨な
興味無し
アピール…

本当に
お嬢様という
身分なのか
疑わしくなる
一方だなあ



降魔士には
獲物と
認定すれば
容赦のない者も
中にはいるさ

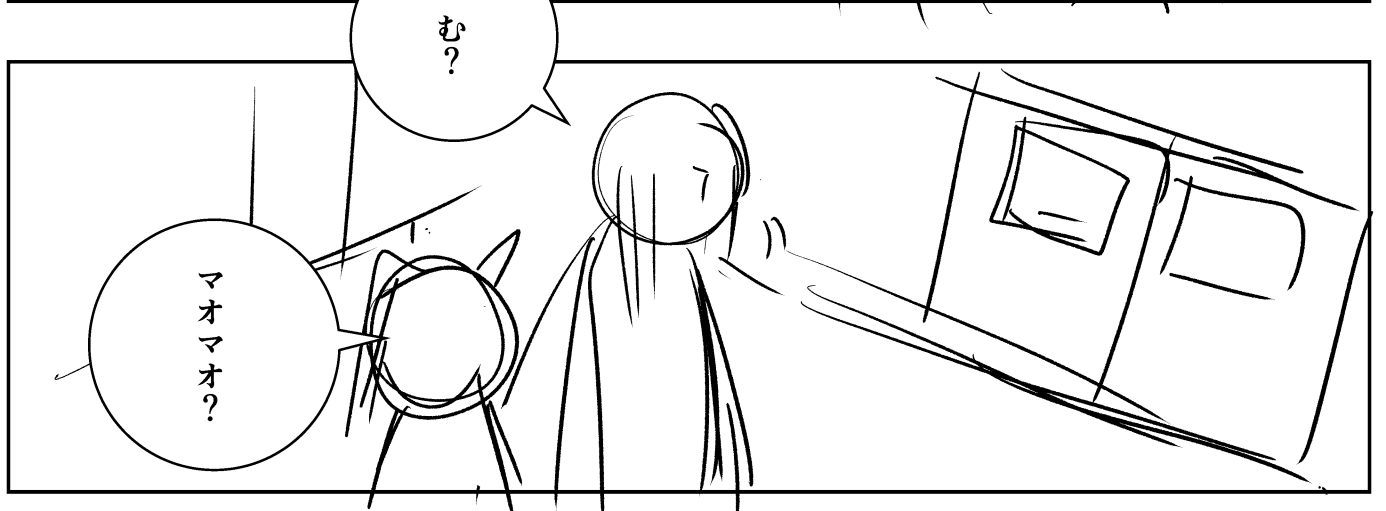
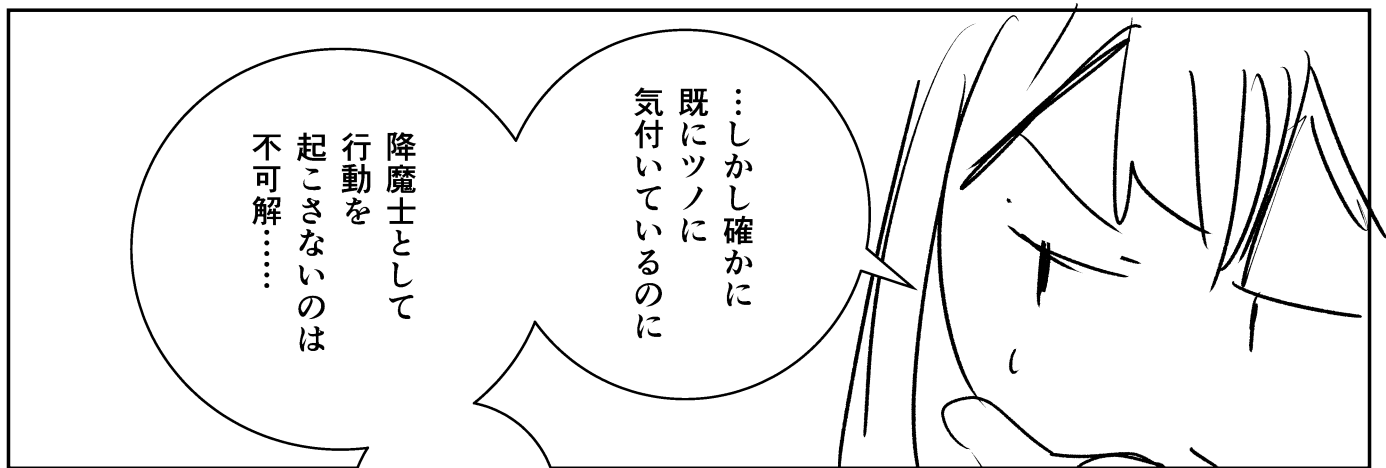
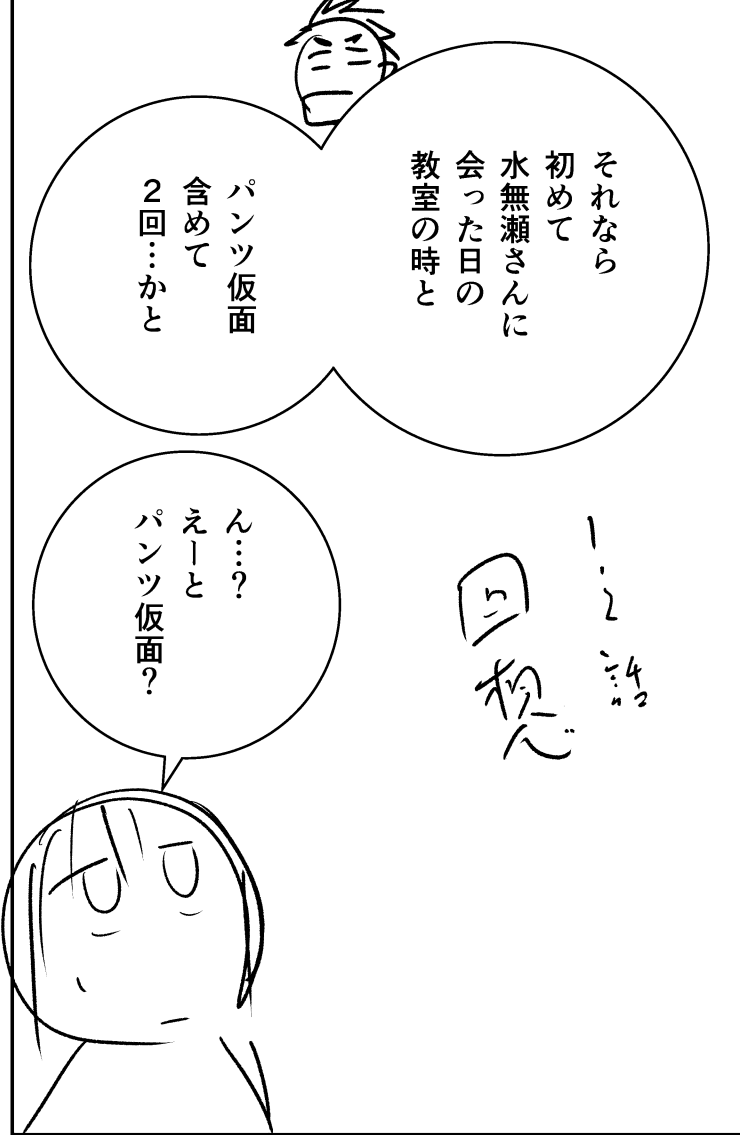
今の様な
ツノが屹立
してるのを
見られた
ことは？



と…とにかく
彼女が狙うのは
お嬢様だろう

キミや私を
人質に…
ということも
ありうる

うーん…
小鳥遊さんは
そんなこと
するかなあ…



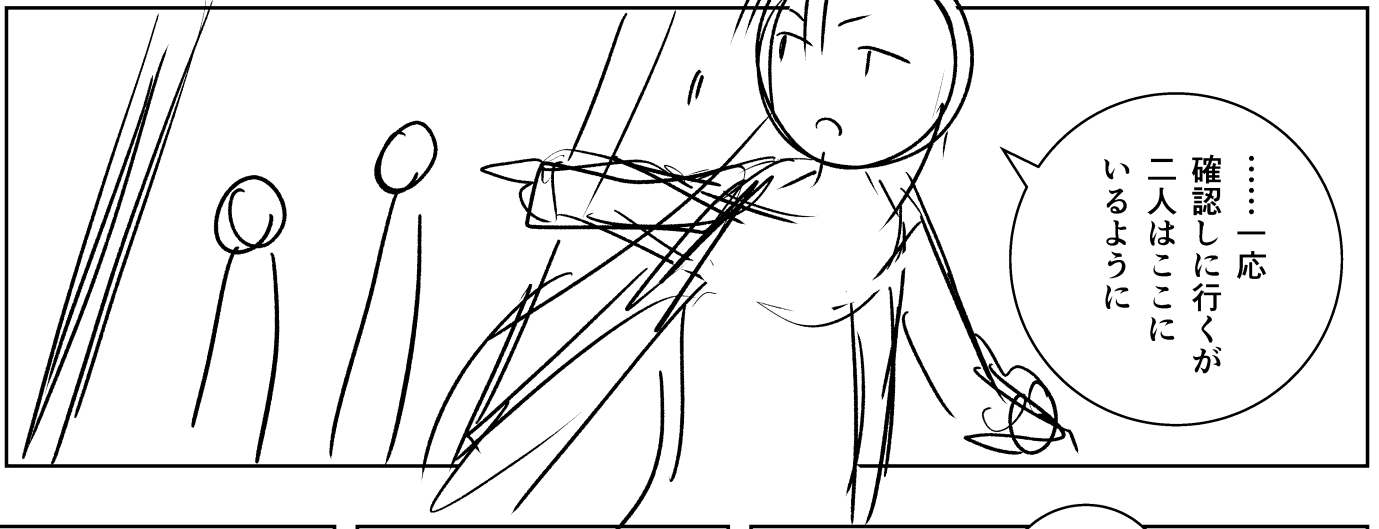


廊下から
心配がしたと
思ったが
勘違いか？

む……ッ



ク
ク
……



……一応
確認しに行くが
二人はここに
いるように



ナニコレ……
二本の筆？



さて
鬼武先輩……
一応
後々のことを
考えて

ハイ
どうぞ

……

ス

!?

ヤバ…
壁際だった…ッ

さてさて？
私の身体で
一番最初に
接触しちゃい
そうな部分は
どこだ？

顔かなあ？
お腹かなあ？
そ・れ・と・も

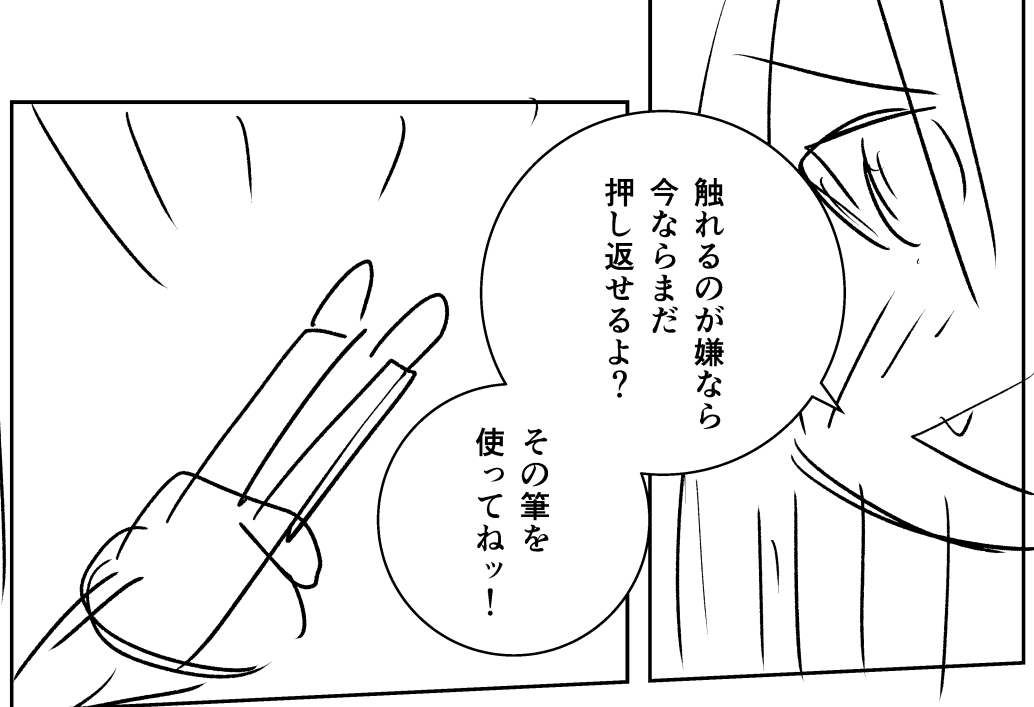
な…なぜ
こんな
事を!?

先輩の意志で
やらしー事
してもらいたい
からでーす♪

たやん

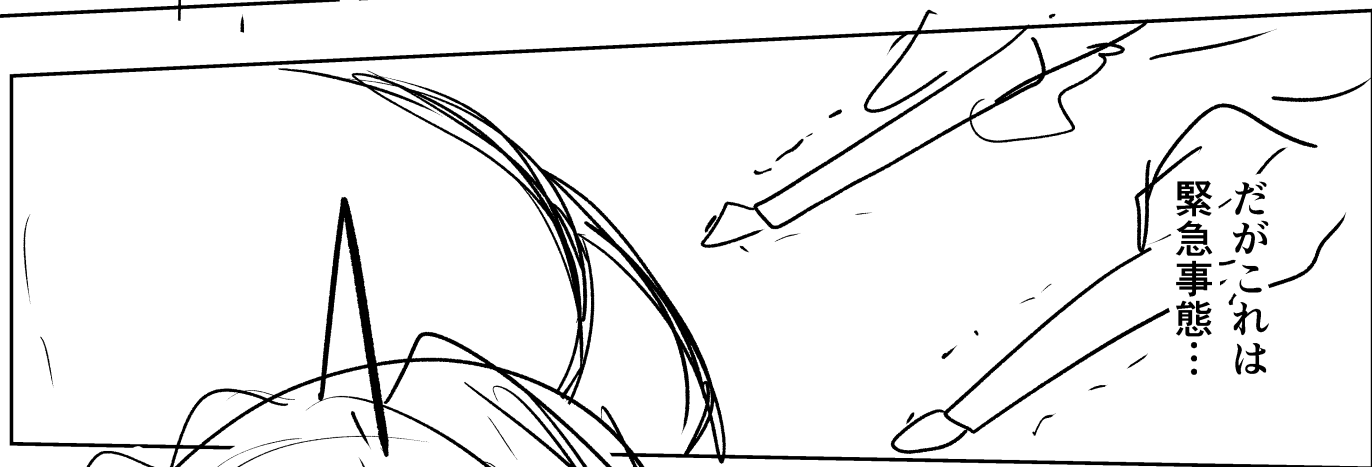


くそう！
そういう
企みか！

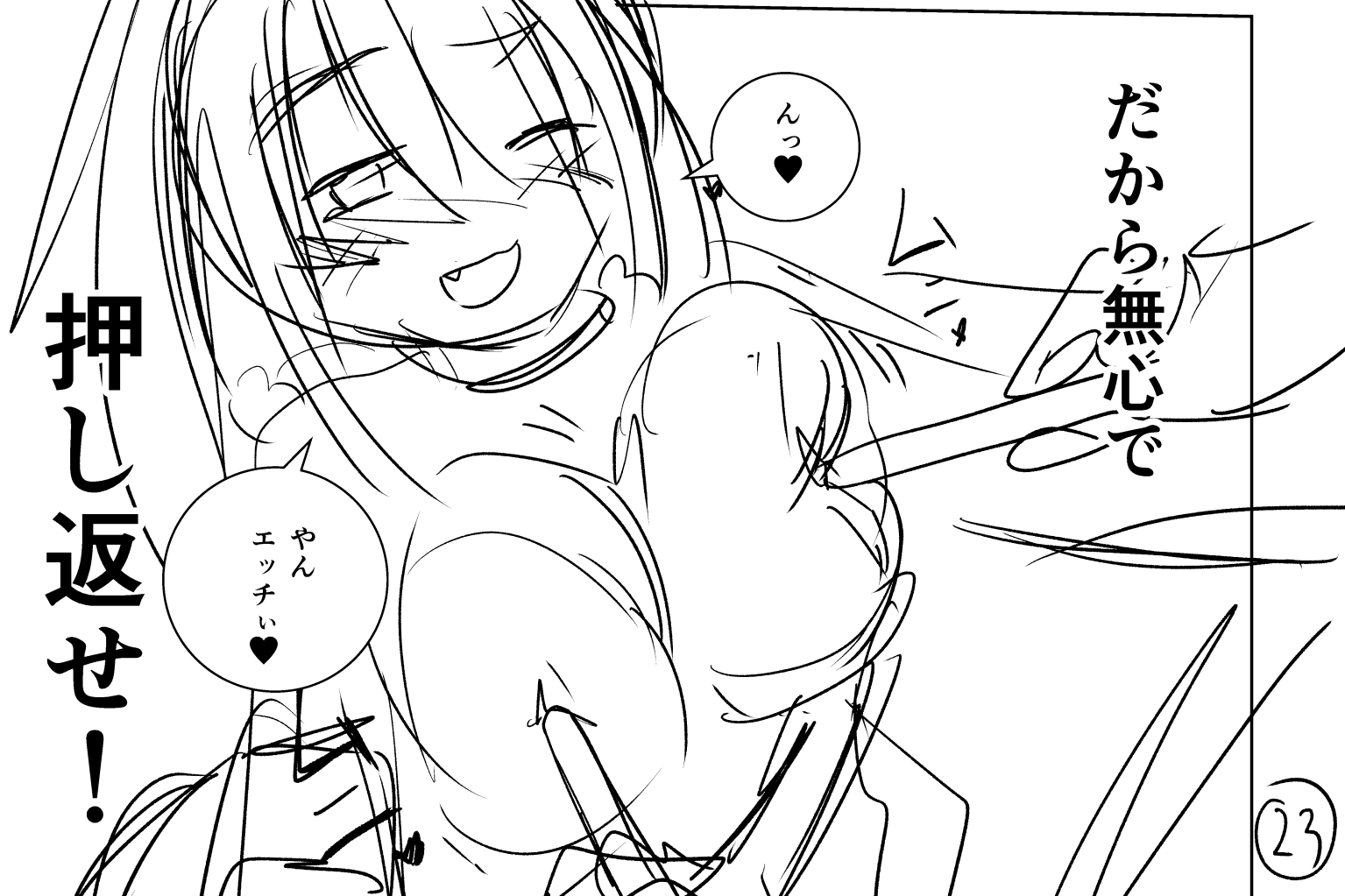


触れるのが嫌なら
今ならまだ
押し返せるよ？

その筆を
使ってねッ！



だがこれは
緊急事態…



んっ♡

だから無心で

押し返せ！

やん
エッチい♡

先輩
興奮してる
でしょ？

ツノに
先輩の欲望が
ビンビン
来てるよ？

ソ…
ソシナコト
ナイゾウ

ん…？
感触が
ちよつと
変化し

!?

こ…これ
ちちちッ
乳く…

う…
運動着を
着てても…
筆越しでも
感じる
存在感…ッ

へっへえ
鬼武先輩が
昔話に夢中
だった時に
下着脱いで
いたのだ！



あゝ…
壁に手を
ついてないから
バランスが
悪いなー

もっと…ん
押し返さないと
あつ…ん
触れちゃうぞ？



ひゃ…うう
くすぐった…
はあ…ん



ひゃ…うう
くすぐった…
はあ…ん

もう
そこばっか
集中して…ん
んう…
へん・タイ

キミに
言われたくは
ないわい！

いーかん！
触れる……
触れちゃう！

ふう

こんな
もんかな

!?

え？
おしまい？
一体
どうして？

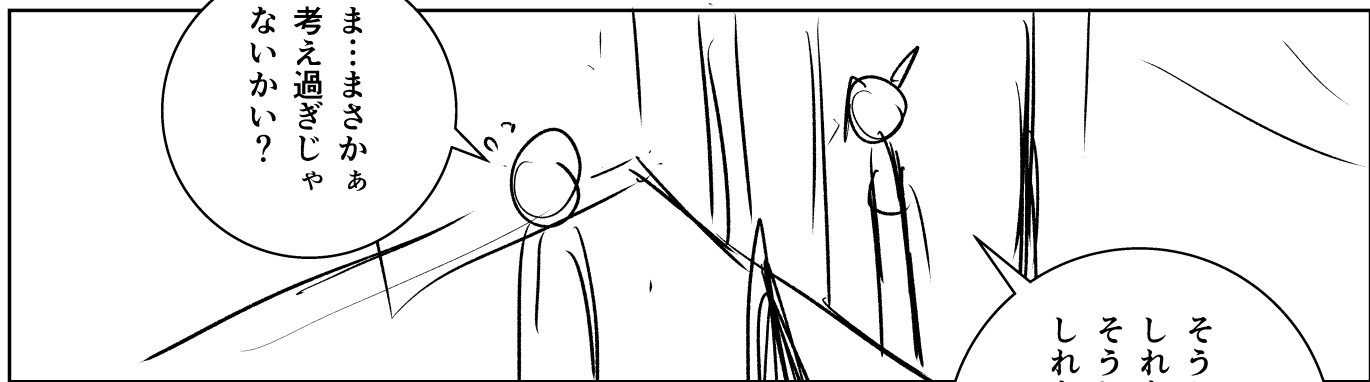
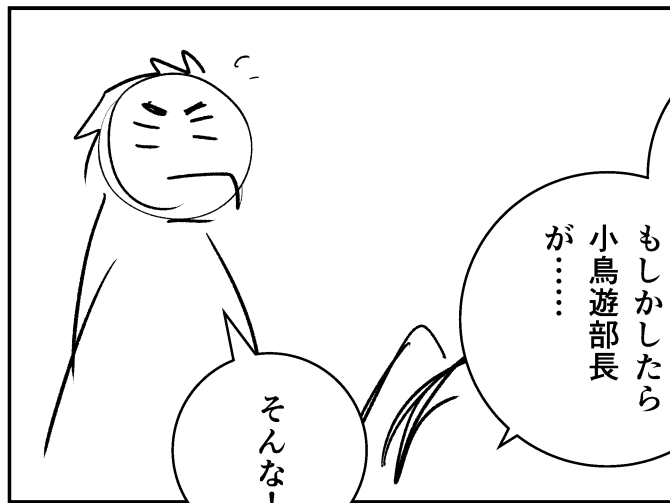
ん……？
あれれ……？

もっと
してたかった？
やーい先輩の
好きものめー

……それは
それとして
マオマオの
帰りが
遅くない？

違う
からね！

んなっ？！
ち……
違わい！



なるほど…
足神さんを
心配してたのか

変わってるけど
悪い子では
ないんだよねあー

鬼武なら
呉葉の強さは
知ってる
でしょ？

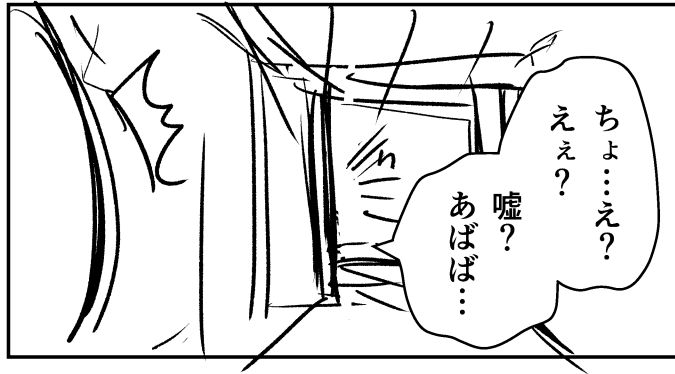
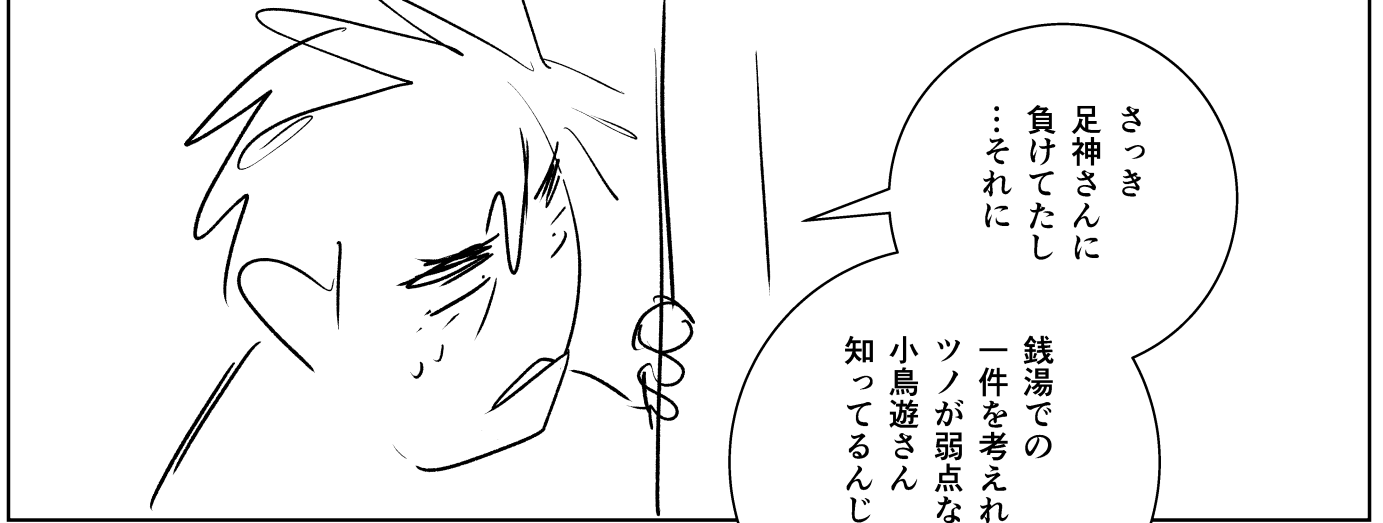
ツノ状態の
私は
普段の体力のない
私と違って
超強いからね！

そりゃ昔の
呉葉さんは
強かったけど
水無瀬さんは

先輩は
ここで
待ってて！

水無瀬紅葉
本気モード…
いっきまーす！

あっ…
ちよっと





逆ハニー

あつ...あつ
コンニャク
しゅご...♡
ツノ...が
変に...あひっ
なっちゃう♡

んー!

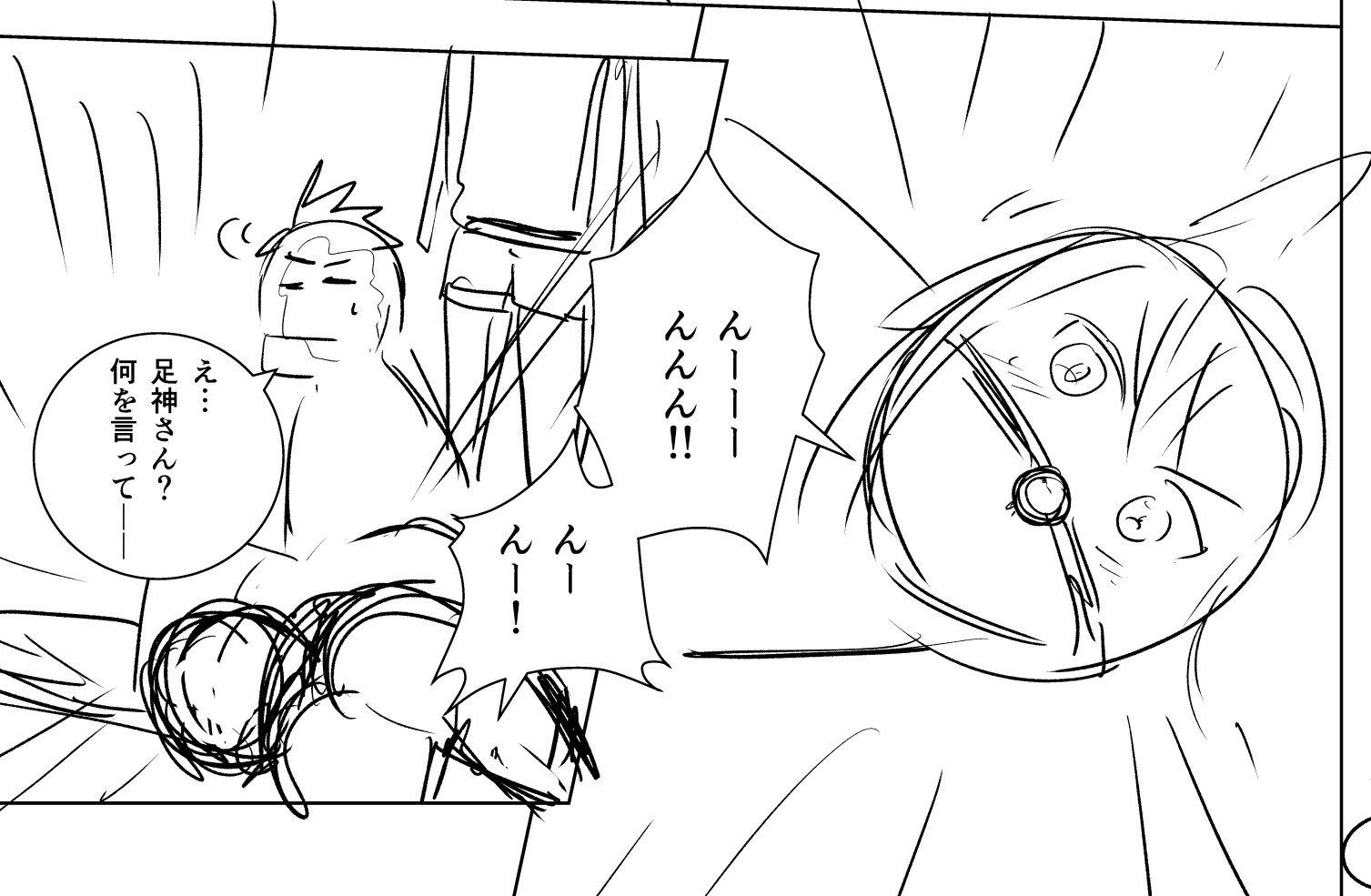
なっ...な...!
何だこりや...
足神さん
までッ!

見続けたら
俺のキノコが
大変なことに
なってしまう...

しかし
足神さん
なんて格好だ

ていうか
このコンニャク
どうやって
振動してるんだ?
あ...

スンマセン
足神さん...
ま...まず
ツノの
コンニャク
外そうか?
んー!!
びりり



鬼武くん

捕まえた

あッ

小鳥遊さんを
密着至近距離で
感じながら

ハッピーな
気分のまま
やっぱり俺は
気を失った